

## 思春期



Q 同級生とのトラブルが絶えず、なかなか友達ができないのですが…

A 発達障害の子どもたちは、その特性から人付き合いがあまり上手くありません。特に思春期の年代は、発達障害でなくても対人関係が不安定になりやすく、ますますトラブルが生じやすい時期でもあります。

本人の特性に合わせ、本人なりの人付き合いができるよう具体的に考えていくことが大切です。専門機関や学校の相談員に限らず、担任の先生や部活の顧問、先輩など、本人自身が相談しやすい人を見つけ、その人と一緒にどうしていったらよいか本人が考えていけると良いでしょう。

Q 16歳の息子は、身だしなみに無頓着です。髭そりを面倒がり、寝ぐせのついた髪でも出かけてしまいます。いつもだらしない服装で、部屋は散らかり、汚れた衣服が埋もれています。同級生の女子からは、「変人」扱いされているようです。おしゃれとまでは言わなくても、もっと他人の目を意識してほしいのですが…

A 日常生活を共にするご家族としては、気を揉むことの多い悩みだと思います。望ましいと思われる行動や服装について具体的に言葉で伝えていくのも一つの方法ですが、あまり頻繁だとお互い嫌な気持ちになってしまうことでしょう。ご本人に問題意識があるのであれば自分でチェックできる表を作ってみる、学校などの協力が得られるのであれば講義スタイルで学ぶ機会を設けてもらう、本人にとってなにか負担となっていることはないかを見直してみるなど、様々な角度から検討していくと良い方法が見つかることがあります。

また、どんな関わりも響かないと感じるようなときは、課題をいったん据え置き、取り組むタイミングを見直すことが必要かもしれません。

Q 子どもが不登校になってしまいました。発達障害が原因でしょうか？

A 不登校の要因は様々で、発達障害であるからといって必ずしも不登校になるわけではありません。ただ、発達の特性から勉強についていけなかったり、同級生とトラブルを起こしたりすることがきっかけとなって、不登校になってしまうことがあります。学校への登校を強制すると、より問題が大きくなってしまうことがあるので、無理強いはせず不登校のきっかけとなった問題がどうやったら解決できるか、本人や家族、学校、相談機関などで一緒に考えていくことが大切です。

Q 私は、学校で教育相談を担当しています。高3発達障害の生徒のことで相談です。本人には大学進学能力はあるのですが、「どうせ自分は何をやってもダメ」と否定的な言動を繰り返します。保護者も悲観的で、相談時に泣くこともしばしばです。良いところを伸ばし、自信をつけさせたいのですが、本人・家族が後ろ向きで困っています。

A 「学力はそこそこののに友達と上手く関われない」「一生懸命やっているのになぜか集団行動についていけない」など、発達障害を抱える方やそのご家族から、よくそんな話を聴きます。発達障害を抱えるがゆえの困難さではないかと思われるのですが、周囲に理解者や支援してくれる人の存在が得られないと、「上手くいかないこと=自分が悪い」と誤解し、いつの間にか追い詰められた心境になって、自信を失ってしまうでしょう。お話の生徒さんやご家族は、これまでの経過の中で、なかなか口に出して言えなかった様々な思いを抱えているのではないのでしょうか？ まずは、ご本人・ご家族の言葉に耳を傾け、辛かったり大変だった思いをしっかりと受け止めてみてください。身近なところに自分の気持ちをわかってくれる人がいる、そうした体験が今後の進路選択にも繋がってくるのではないのでしょうか。

